

令和 9 年 度

入 学 者 選 抜 要 項

福島大学では、令和 9（2027）年 4 月に既存の 3 学群 5 学類を 4 学部へ再編し、入学定員を変更する予定です。

なお、これらの計画は文部科学省大学設置・学校法人審議会等の審査結果によって確定するものであり、変更があり得ます。

本要項に掲載する募集人員、出願資格、入学者選抜方法および入試日程等はすべて予定です。

詳細については、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知（令和 8 年 7 月中旬および 8 月末頃）後、順次公表する学生募集要項で発表する予定です。



〒960-1296

福島市金谷川 1 番地

☎024-548-8064（入試課）

<https://www.fukushima-u.ac.jp/>

福島大学
スマートフォン対応サイト



目 次

Ⅰ	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
Ⅱ	入学定員および募集人員	7
Ⅲ	出 願 資 格	8
Ⅳ	一 般 選 抜	
1	令和9年度福島大学入学者選抜の実施教科・科目等	9
2	一般選抜の日程について	9
3	一般選抜における主体性等評価および合格者決定方法について	16
4	一般選抜（前期日程および後期日程）における過去問題の 使用について	18
Ⅴ	総 合 型 選 抜	19
Ⅵ	学校推薦型選抜	30
Ⅶ	私費外国人留学生選抜	36
Ⅷ	そ の 他	
1	障がい等のある入学志願者の事前相談	39
2	不正行為の禁止について	39
3	入試情報の公開（開示）について	40
4	学生募集要項等の発表時期・請求方法	41
5	東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において 被災された方に対する検定料の免除について	44
6	こども性暴力防止法の施行について	45
7	令和10年度福島大学入学者選抜（令和9年度実施）に 関するお知らせ	45
	○福島大学案内図	本要項末

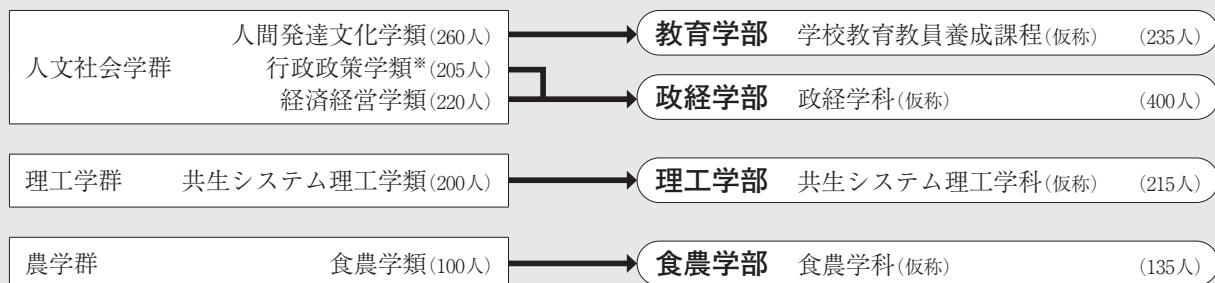
本学におけるすべての入試はインターネット出願のため、冊子での募集要項の配布は行いません。

詳細は、本学ウェブサイトの各募集要項をご覧ください。

「入試情報－募集要項」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>)

福島大学では、令和9（2027）年4月に既存の3学群5学類を4学部へ再編し、入学定員を変更する予定です。

3学群5学類



4学部

※人文社会学群行政政策学類夜間主（入学定員20人）については、令和8年4月をもって学生受入を停止します。

教育学部(仮称)

地域課題を掘り起こし教育を通して解決を試みる
地域課題探究コース

国際的な視点で日本や諸外国の文化や生活を考える
グローバル探究コース

数学や理科、技術、アートをつないで課題を解決する
STEAM教育コース

学校現場での活動を通して教師の資質を身につける
教育臨床コース

子どもたちが共に学ぶ環境をつくる
インクルーシブ教育コース

理工学部(仮称)

理論と実践力のバランスのとれた情報人材を育成する
情報理工学コース

物理学などを基盤に技術やシステムの創出を担う人材を育成する
メカトロニクスコース

水素などの先進的でクリエイティブな化学系人材を育成する
分子デザイン科学コース

環境を多面的に捉え、計画・管理する人材を育成する
環境システムコース

政経学部(仮称)

地域資源や新技術を活用し新しい価値を創造する
産業・地域社会イノベーションコース

地域企業の新陳代謝をけん引し地域経済を再構築する
経済経営コース

公的な視点で新しい社会の姿をデザインし伴走する
公共政策デザインコース

食農学部(仮称)

食品の栄養や機能を解明し豊かな食と健康を創造する
食品科学コース

気候変動に対応した革新的農業生産技術を開発する
農業科学コース

森林・農山村環境の保全と利活用を推進する
フィールド環境学コース

これからの地域社会と農業の活性化を担う
農業経営学コース

単位：人

学群	学 類	コ ー ス 等	入学 定員	募 集			人 員		
				選 抜		総合型選抜		学校推薦型 選 抜	私費外国人 留学生選抜
				一 般	後期日程				
人 文 社 会 学 群	人間発達 文化学類	教育実践コース	260	15	A系		14	各コース 若干名	
		心理学・幼児教育コース		20			7		
		特別支援・生活科学コース		12			13		
		芸術・表現コース		12		8	8		
		人文科学コース		60	B系		15		
		数理自然科学コース		15		6	11		
		スポーツ健康科学コース		20		12	6		
		小 計		154		12	20		74
		昼 間		108	35		42		若干名
		地域政策と法コース 地域社会と文化コース							
夜間主	20		20						
行政政策 学 類	小 計	205	108	35	20	42	若干名		
	経済学コース 経営学コース	220	115	40	11	A推薦 25 B推薦 25		5	
理 工 学 群	共 生 システム 理工学類	情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース	200	102	50	一般枠 24 理系教育女性 人材育成枠 8	16	若干名	
		食品科学コース 農業生産学コース 生産環境学コース 農業経営学コース	100	60	20	20			若干名
合 計			985	538	157	103	182	5	



単位：人

学部	学科等	コ ー ス ・ 系	入学 定員	募 集			人 員	
				一 般 選 抜		総合型選抜	学校推薦型 選 抜	私費外国人 留学生選抜
				前期日程	後期日程			
教育学部（仮称）	学校教育 教員養成 課程 （仮称）	地域課題探究コース グローバル探究コース STEAM教育コース 教育臨床コース インクルーシブ教育コース	235	59	33	地域教員 希望枠20	5	8
							5	8
							5	8
							10	5
				21			5	8
							5	7
							4	7
92	33	20	39	51				
政経学部（仮称）	政経学科 （仮称）	産業・地域社会イノベーションコース 経済経営コース 公共政策デザインコース	400	210	50	総合型Ⅰ型 概ね20 総合型Ⅱ型 概ね20	A推薦 65 B推薦 25	10
理工学部（仮称）	共生システム 理工学科 （仮称）	情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース	215	113	50	一般枠 28	16	若干名
						理系教育 女性人材 育成枠 8		
食農学部（仮称）	食農学科 （仮称）	食品科学コース 農業科学コース フィールド環境学コース 農業経営学コース	135	75	20	40		若干名
合 計			985	490	153	175	157	10

I アドミッション・ポリシー（入学受入方針）

福島大学の教育目標

福島大学は、正規課程および課外活動等のあらゆる機会を捉えて、自ら学び、主体的な人生設計と職業選択を行うことのできる自立した人間の育成をめざします。

また、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故からの学びを活かし、「新たな地域社会の創造」に取り組み、人口減少や高齢化、環境・資源・エネルギー問題などの地域および世界の「21世紀的課題」を自分事として捉え、複雑かつ困難な課題に果敢に挑戦する人材の育成を目標に掲げます。

そのために「問題基盤型学習」を教育理念としたカリキュラムを備え、確かな専門知識や技術、実践的なスキル、「解のない問い」に挑む態度などを身につけます。

福島大学の求める学生像（福島大学のアドミッション・ポリシー）

福島大学では、以下の要件を満たす学生を募集します。なお、「求める学生像」の具体的内容は、学部のアドミッション・ポリシー（AP）で示します。

1. 〈福島大学の教育目標〉を理解していること
2. 地域や社会の発展に貢献する志をもつこと
3. そのために、①選択した領域の専門知識、②問題を発見し探究する力、③広い教養と知的関心、④グローバルな視野、⑤主体的に多様な人々と協働する力、を自ら向上させようとする意欲があること
4. 福島大学での学士課程教育を受けるにふさわしい基礎的学力、思考力・表現力・コミュニケーション能力、現実の問題や学問への能動的姿勢を持っていること

入学者選抜の基本方針

福島大学では、すべての学部の入学者選抜において、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（以下、「主体性等）」の「学力の3要素」を多面的・総合的に評価します。

学力の要素 評価方法	〈 学 力 の 3 要 素 〉				
	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主 体 性 等	
	知識・技能	思考力・判断力	表 現 力	意欲・関心・態度 (主 体 性)	協 働 性
大学入学共通テスト, 個別学力検査	○	○			
実技（実績評価）	○				
小論文, 課題論文, 課題レポート	○	○	○		
ペーパーインタビュー	○	○	○	○	○
プレゼンテーション, 口頭試問, 面接	○	○	○	○	
グループディスカッション		○	○		○
調査書				○	○
推薦書（学校）	○			○	
自己推薦書, 志願理由書			○	○	
探究調査書	○	○	○	○	○

総合型選抜と学校推薦型選抜では、下表に記した方法で、学力の3要素を評価します。

総合型選抜

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
教育学部 地域教員希望枠	小論文, プレゼンテーション, 面接		
教育学部 探究枠 (国語系, 英語系, 社会科系, 算数・ 数学系, 理科系, 心理・表現系)	探究調書, 面接		
教育学部 探究枠 (保健体育系)	探究調書, 面接, 実技実績評価	探究調書, 面接	
政経学部 I 型	課題レポート (第1次選抜)		
	グループディスカッションおよび面接 (第2次選抜)		
政経学部 II 型	課題レポート (第1次選抜)		
	調査書 (評点), 語学資格・検定基準	グループディスカッションおよび面接 (第2次選抜)	
理工学部	志願理由書 (第1次選抜)		
	課題レポート, 面接 (第2次選抜)		面接 (第2次選抜)
食農学部	自己推薦書 (第1次選抜), 課題論文 (第2次選抜)		面接 (第2次選抜)

学校推薦型選抜

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
教育学部	大学入学共通テスト, 面接		面接
政経学部 (A推薦)	調査書 (評点)	小論文, 面接	面接
政経学部 (B推薦)	調査書 (評点), 簿記検定基準	小論文, 面接	面接
理工学部	大学入学共通テスト, 面接		面接

教育学部（仮称）

1. 基本理念・目標

福島大学教育学部は「教育×未来志向×地域」のキーワードのもと、専門的な学び、学際的・探究的な学びを深め、持続可能な未来をつくり出す価値創造的な学びを展開して「福島ならではの教育」を実現できる教員を養成します。教育学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

2. 求める学生像

- (AP1) 教員養成課程で学ぶために必要な知識及び技能，思考力，判断力，表現力等を有する人
- (AP2) 現代的教育課題に興味を持ち，時代に相応しい教育のあり方について学ぶ意欲を持っている人
- (AP3) 分野にこだわらない探究的な活動を通し，課題解決に向けて試行錯誤する意欲を持つ人
- (AP4) 協働的な活動を通し，課題解決に向けて試行錯誤する意欲を持つ人
- (AP5) 教員となる強い意志と，教員をめざすのに相応しい倫理観を持っている人

3. 入学者選抜の基本方針

上記の基本理念・目標にふさわしい学生を受け入れるために，基礎的な知識及び技能，思考力・判断力・表現力等の能力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度に加え，探究的・協働的な学びを進める力を多面的に評価して，入学者を選抜します。

福島大学教育学部は7つの系（国語系，英語系，社会科系，算数・数学系，理科系，保健体育系，心理・表現系）と5つのコース（地域課題探究コース，グローバル探究コース，STEAM教育コース，教育臨床コース，インクルーシブ教育コース）から構成されますが，入学者選抜の募集枠や定員は系に対応しています。

政経学部（仮称）

政経学部では、卒業までに次の知識および能力を身に付けたいという意欲および基礎的な知識・技能を有している学生を受け入れます。

（AP1）社会課題への関心と主体的な学びへの意欲

社会課題に強い関心を持ち、グローバルかつローカルな視点から理論と実践を結びつけて、解決に向けて主体的に取り組む意欲を持つ人。

（AP2）論理的思考力と課題解決力を身につけたい人

データやエビデンスを基に論理的に考え、社会課題を多面的に分析し、実践的な解決策を提案できる力を身につけたい人。

（AP3）多分野の知識を統合し、新しい価値を創出することへの意欲

幅広い学問領域に興味を持ち、多分野の知見を融合して新しいアイデアを生み出すことに意欲的な人。

（AP4）協働しながらリーダーシップを発揮する力を身につけたい人

多様な人々と協働し、プロジェクトを牽引するリーダーシップを発揮しようとする人。

（AP5）社会倫理と公正性に基づく責任ある行動への意欲

社会の多様な価値観や異なる文化的背景を尊重し、社会倫理と公正性に基づく責任ある行動をしようとする意欲を持つ人。

上記の意欲に加えて、以下の知識・技能を求めます。

(1) 高校時代までの基礎的な学力

：国語，地歴公民，理科，数学，外国語，情報について，修学に必要な知識を有している。

(2) 読解力・思考力・知識活用力・表現力

(3) 得意分野に関する優れた学力・実績

理工学部（仮称）

1. 理工学部の教育目標と求める学生像

理工学部では、共生システムの名の下に、人・産業・環境が共生する社会を構築するために必要な学問を総合的・実践的に学び、21世紀の社会が抱える諸課題の解決に貢献できる知識・技能と現場応用力を備えた理工系人材を養成することを教育目標に掲げています。共生を科学する新しい教育・研究システムの下で、卒業までに次の4点を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- 幅広い理工学的基礎知識と確かな専門性
- 論理的で的確な立案力と決定力
- 学際的・国際的に実践する力
- 積極的かつ持続的な貢献意識

理工学部では、1年生で数学、物理学、化学、生物学、地球科学、プログラミング等の理工系の基礎科目を学ぶとともに、「共生の科学」などの科目で諸課題を学際的・システムの捉える力を養います。2年生の前期（第3セメスター）から専門領域名を冠した4つのコース*の中から1つを選択して専門領域を深く学び、3年生の後期（第6セメスター）からは研究室に配属されて、演習や卒業研究を行います。

* 4コース：情報理工学コース、メカトロニクスコース、分子デザイン科学コース、環境システムコース

2. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

本学部で学び成長するために、以下に掲げる力を有している学生を求めます。

- (1) 高校までに身につけるべき基礎学力
- (2) 理系科目における柔軟な思考力と応用力
- (3) 自然現象や様々な課題を観察し分析する力
- (4) 観察し分析した結果や自らの考えを表現する力

食農学部（仮称）

1. 食農学部の教育目標と求める学生像（アドミッション・ポリシー）

食農学部では、食品産業や農林業の第一線で活躍することや、行政や教育機関などで食品産業や農林業を支えることを目指す意欲を持ち、卒業までに次の4つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- 農学の専門知識を関連産業や地域社会の実践的な取り組みにつなげる力
- 異なる専門分野との学際的な交流によってチームプレイを推進できる力
- グローバルな科学的知見や国際比較の情報を地域の課題解決に活かす力
- 温かい眼差しと冷静な分析力によって地域社会への貢献を持続できる力

食農学部では、2年次後期（第4セメスター）から、食品科学コース、農業科学コース、フィールド環境学コース、農業経営学コースのいずれかに所属することになります。各コースは、次のような基礎的・専門的な知識と能力を身に付けた人材の養成を目標としています。

- 食品科学コース：食品の分析について専門的な知識・技能を修得している。優れた食品の製造について知識・技能のポイントを修得するとともに、地域の食の伝統的な強みを活かす筋道を具体的に理解している。
- 農業科学コース：作物・園芸植物・畜産物などの生産について専門的な知識・技能を修得している。病虫害管理や土壌肥料、気候変動への対応や生産物の品質・多面的有効利用に関する基本課題を深く理解している。
- フィールド環境学コース：森林・農地・水域などフィールドの生産環境の実態を把握し、管理・活用・修復に関するシステムを体系的に修得している。生態系の価値を評価し、スマート農業などデータ駆動型の先端技術を活用して、持続可能な利用や改善に取り組むことができる。
- 農業経営学コース：農林業や食品産業の活動を社会科学の観点から分析する知識・技能を修得している。農商工連携などの新潮流の情報に詳しく、協同組合や共有資源の役割についても深く理解している。

2. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

本学部での成長を実現するために、以下に掲げる力を有している者を求めます。

- (1) 高等学校までに身に付けるべき基礎学力
- (2) 対象を的確に捉える理解力と分析力
- (3) 主体的に課題に取り組み探究する力
- (4) 客観的かつ論理的な思考力
- (5) 自らの見解を的確に伝える表現力
- (6) 常に食と農に関心を寄せる持続力

Ⅱ

入学定員および募集人員

単位：人

学部	学科等	コ ー ス ・ 系		入学 定員	募 集 人 員						
					一 般 選 抜		総合型選抜	学校推薦型 選 抜	私費外国人 留学生選抜		
					前期日程	後期日程					
教育学部 (仮称)	学校教育 教員養成 課 程 (仮称)	地域課題探究コース グローバル探究コース STEAM教育コース 教育臨床コース インクルーシブ教育コース	国語系	235	59	33	地域教員 希望枠20	探究枠	5	8	
			英語系						5	8	
			社会科系						5	8	
			心理・表現系						10	5	
			算数・数学系		21				5	8	
			理科系					5	7		
			保健体育系		12			4	7		
			小 計		92	33	20	39	51		
政経学部 (仮称)	政経学科 (仮称)	産業・地域社会イノベーションコース 経済経営コース 公共政策デザインコース	400	210	50	総合型Ⅰ型 概ね20 総合型Ⅱ型 概ね20	A推薦 65 B推薦 25	10			
理工学部 (仮称)	共生 システム 理工学科 (仮称)	情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース	215	113	50	一般枠 28 理系教育 女性人材 育成枠 8	16	若干名			
食農学部 (仮称)	食農学科 (仮称)	食品科学コース 農業科学コース フィールド環境学コース 農業経営学コース	135	75	20	40		若干名			
合 計				985	490	153	175	157	10		

【注意事項】

教育学部（仮称）

- 教育学部の総合型選抜（地域教員希望枠）は出願時に7つの系（国語系、英語系、社会科系、算数・数学系、理科系、保健体育系、心理・表現系）から第三希望の系まで指定できます。
- 教育学部の総合型選抜および学校推薦型選抜の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- 教育学部の一般選抜前期日程の〔国語系、英語系、社会科系、心理・表現系〕枠は出願時に第三希望の系まで指定できます。また〔算数・数学系、理科系〕枠は出願時に第二希望の系まで指定できます。
- 教育学部の一般選抜後期日程は出願時に第三希望の系まで指定できます。
- 教育学部入学者の所属コースは、1年次後期に本人の希望を考慮して決定します。
- 教育学部の国語系、英語系、社会科系、算数・数学系、理科系、保健体育系では以下のいずれかのタイプでの教員免許の取得が卒業要件となります。

Aタイプ：（小学校一種免許および中学校二種免許）

Bタイプ：（中学校一種免許および小学校二種免許）

【総合型選抜・探究枠】はBタイプ、【学校推薦型選抜】はAタイプとなり、それ以外の入学者選抜による入学者については入学時に希望を申請し、希望に基づきタイプを確定します。なお、心理・表現系はタイプに分かれておらず、小学校二種免許の取得が卒業要件となります。

政経学部（仮称）

- 政経学部の総合型選抜、学校推薦型選抜、および私費外国人留学生選抜の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は原則として一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- 政経学部入学者の所属コースは、1年次後期に本人の希望を考慮して決定します。

理工学部（仮称）

- 理工学部の総合型選抜では、合格者が募集人員に満たない場合があります。
- 理工学部の総合型選抜および学校推薦型選抜の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程または後期日程の募集人員に加えます。
- 理工学部入学者の所属コースは、1年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。

食農学部（仮称）

- 食農学部の総合型選抜の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- 食農学部入学者の所属コースは、2年次前期終了時に決定します。

Ⅲ 出 願 資 格

一般選抜に出願することができる者は、次のいずれかに該当し、かつ、令和9年度大学入学共通テストの教科・科目のうち本学が指定した教科・科目をすべて受験した者※¹とします。

総合型選抜、学校推薦型選抜および私費外国人留学生選抜については、該当の項を参照してください。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月に修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および令和9年3月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和9年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和9年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による資格検定試験に合格した者を含む。）および令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者（平成21年4月1日に生まれた者を含む。）
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者（平成21年4月1日に生まれた者を含む。）※²

※1 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目については、10～15ページのとおりです。各学部・試験日程（教育学部前期日程は「系」）ごとに指定された教科・科目を受験していない場合は、出願資格を有しないこととなりますので注意してください。

大学入学共通テスト「外国語」において、「英語」を選択する場合は、「リスニング」の免除を許可された場合を除き、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。「リーディング」または「リスニング」のどちらかしか受験していない場合は、「英語」を受験しなかったものとして取り扱いますので注意してください。

※2 出願資格の(3)⑥により出願を希望する者は、個別審査を行いますので、本学所定の申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、令和8年8月28日(金)〔午後5時必着〕までに提出してください。

なお、大学入学共通テスト出願後に、一般選抜の志望大学を本学に変更し出願する者は、令和9年1月13日(水)〔午後5時必着〕までに申請書、必要書類を提出してください。

個別審査の申請に必要な書類については、本学入試課へ問い合わせるか、本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)を参照してください。

Ⅳ 一 般 選 拔

1 令和9年度福島大学入学者選抜の実施教科・科目等

一般選抜における大学入学共通テストの利用教科・科目名，個別学力検査等，配点等は10～18ページのとおりでです。

2 一般選抜の日程について

(1) 出願期間

令和9年1月25日(月)～2月3日(水)

(2) 選抜期日

前期日程 令和9年2月25日(木)

後期日程 令和9年3月12日(金)

(3) 合格発表日

前期日程 令和9年3月6日(土)

後期日程 令和9年3月20日(土)

○各学部的一般選抜の選抜方法

【一般選抜】教育学部（仮称）

大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等			個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
コース	系	日程 募集人員	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地公	歴史・ 公民	数学	理科	外国語	情報	実技 検査	小論文	ペーパー インタビュー	配 点 計
地域課題探究コース グローバル探究コース STEAM教育コース 教育臨床コース インクルーシブ教育コース	国語系 英語系 社会科学系 心理・表現系	前期日程 59人 (国語系 14) (英語系 14) (社会科学系14) (心理・表現系17)	国語	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共・倫理」、「公共・政治・経済」 *「地理総合／歴史総合／公共」は、地理総合、歴史総 合および公共の3つを出題範囲とし、そのうち2つを 選択解答してください。	その他	小論文	共通テスト	200	200	200	200	100	200	100				1000
			理科	「選択①：「地歴」「公民」から1科目選択する場合」 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、 「化学」、「生物」、「地学」から2 「選択②：「地歴」「公民」から2科目選択する場合」 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、 「化学」、「生物」、「地学」から1 *「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、物 理基礎、化学基礎、生物基礎および地学基礎の4つを 出題範囲とし、そのうち2つを選択解答してください。	その他	ペーパーインタビュー	共通テスト	200	200	200	200	100	200	100		400	400	
	算数・数学系 理科系	前期日程 21人 (算数・数学系14) (理科系 7)	数学	数学①「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ」から1と 数学②「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1 「情報Ⅰ」 〈選択①〉〔6教科8科目〕 〈選択②〉〔6教科8科目〕または〔7教科8科目〕	その他	ペーパーインタビュー	共通テスト	200	200	200	200	100	200	100				1000
			外国語															400
保健体育系	算数・数学系 理科系	前期日程 21人 (算数・数学系14) (理科系 7)	情報				計											1400
			国語															
	保健体育系	前期日程 12人	国語	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共・倫理」、「公共・政治・経済」から1 *「地理総合／歴史総合／公共」は、地理総合、歴史総 合および公共の3つを出題範囲とし、そのうち2つを 選択解答してください。	その他	実技検査	共通テスト	200	100	100	100	200	50				750	
			理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、 「化学」、「生物」、「地学」から1 *「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、物 理基礎、化学基礎、生物基礎および地学基礎の4つを 出題範囲とし、そのうち2つを選択解答してください。													500	500
			数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ」、「数学B、数学C」 から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1 「情報Ⅰ」 〔6教科6科目〕													1250	
			外国語															

コ	ー	ス	系	日 程 募集人員	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
					教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地 公	歴、 数 学	理 科	外国語	情 報	実 技 検 査	小論文	ペーパー 英検	配 点 計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
地域課題探究コース グローバル探究コース STEAM教育コース 教育臨床コース インクルーシブ教育コース	国語系 英語系 社会科系 算数・数学系 理科系 保健体育系 心理・表現系	後期日程 33人 (国語系 5) (英語系 5) (社会科系 5) (算数・数学系 5) (理科系 4) (保健体育系 4) (心理・表現系 5)	国語	「国語」 地理歴史、 公民	その他	小論文	共通テスト	200	200	100	200	200	100				1000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			理科	〈選択①〉：「地理」、「公民」から1科目選択する場合) 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、 「化学」、「生物」、「地学」 から2 〈選択②〉：「地理」、「公民」から2科目選択する場合) 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、 「化学」、「生物」、「地学」 から1 *「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、物 理基礎、化学基礎、生物基礎および地学基礎の4つを 出題範囲とし、そのうち2つを選択解答してください。										200	200																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			数学	数学①「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ」 から1と 数学②「数学Ⅱ、数学B、数学C」																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1 「情報Ⅰ」																	1200																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

※一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）において調査書は、高大接続および学力の3要素評価の観点から、総合判定時の資料として活用します。

【系】欄

(1) 前期日程について

① 出願時の申請「系」について

【国語系、英語系、社会科系、心理・表現系】

・出願時に、志望の系を第3志望まで申請することができます。

・合格者の決定方法は、全受験者を大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の成績の総合得点順に並び、得点上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。

【算数・数学系、理科系】

・出願時に、志望の系を第2志望まで申請することができます。

・合格者の決定方法は、全受験者を大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の成績の総合得点順に並び、得点上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。

(2) 後期日程について

① 出願時の申請「系」について

・出願時に、志望の系を第3志望まで申請することができます。

・合格者の決定方法は、全受験者を大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の成績の総合得点順に並び、得点上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。

【大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等】欄

(1) 前期日程について

① 「地理歴史」、「公民」および「理科」について、指定された範囲の中で指定された科目数以上に受験している場合の判定に用いる科目は以下のとおりとなります。

【国語系、英語系、社会科系、算数・数学系、理科系、心理・表現系】

・「地理歴史」、「公民」から2科目、「理科」から2科目受験した場合、それぞれの「第1解答科目」の2科目と「第2解答科目」の2科目と「第3解答科目」のどちらか高得点の1科目、合計3科目を判定に用います。

【保健体育系】

・「地理歴史」、「公民」から2科目受験した場合、「第1解答科目」を判定に用います。

・「理科」から2科目受験した場合、「第1解答科目」を判定に用います。

大学入学共通テストの「地理」及び「公民」において、2科目を選択する場合は、下表の「○」で示す組合せから選択してください。「×」で示す組合せから選択することはできません。

	「地理総・地理探」	「歴史・地理探」	「歴史・世探」	「地理総・地理探及び公」	「地理総・歴史・公」	「公・偏」	「公・偏」
「地理総・地理探」	○	○	○	×	○	○	○
「歴史・地理探」	○	○	○	○	×	○	○
「歴史・世探」	○	○	○	○	×	○	○
「地理総・地理探及び公」	○	○	○	○	○	○	○
「歴史・地理探及び公」	○	○	○	○	○	○	○
「公・偏」	○	○	○	○	○	○	○
「公・偏」	○	○	○	○	○	○	○

- ② 「地理歴史」、「公民」から2科目選択する場合は、右図の中から選択してください。×印の選択はできません。
- ③ 「理科」を「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」とする場合は、4つの出題範囲のうち2つを選択解答してください。また、理科を2科目受験する場合、「基礎」を付していない科目と「基礎」を付している科目で同一名称を含む出題範囲と科目を選択しても構いません。
- ④ 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します。(リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります。)
- ⑤ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和9年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。
- (2) 後期日程について
- ① 「地理歴史」、「公民」および「理科」について、指定された範囲の中で指定された科目数以上に受験している場合の判定に用いる科目は以下のとおりとなります。
- 「地理歴史」、「公民」から2科目、「理科」から2科目受験した場合、それぞれの「第1解答科目」の2科目と「第2解答科目」のどちらか高得点の1科目、合計3科目を判定に用います。
 - 「地理歴史」、「公民」から2科目選択する場合は、右図の中から選択してください。×印の選択はできません。
 - ③ 「理科」を「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」とする場合は、4つの出題範囲のうち2つを選択解答してください。また、理科を2科目受験する場合、「基礎」を付していない科目と「基礎」を付している科目で同一名称を含む出題範囲と科目を選択しても構いません。
 - ④ 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します。(リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります。)
 - ⑤ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和9年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【個別学力検査等】欄

- (1) 前期日程について

- ① 「ペーパーインタビュー」は面接による試験ではなく、紙面に記載された質問を読んで解答を記述する筆記型の試験です。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- (1) 前期日程について

- ① 「地理歴史」、「公民」、「理科」について

上段は、「地理歴史」、「公民」から2科目が用いられた場合の配点を表します。

下段は、「理科」から2科目が用いられた場合の配点を表します。

- ② 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を、配点(200点満点)に圧縮して利用します。

リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点(200点満点)に換算して利用します。

- ③ 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

④ 「情報」の配点について、保健体育系は50点満点に圧縮して利用します。

- (2) 後期日程について

- ① 「地理歴史」、「公民」、「理科」について

上段は、「地理歴史」、「公民」から2科目が用いられた場合の配点を表します。

下段は、「理科」から2科目が用いられた場合の配点を表します。

- ② 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を、配点(200点満点)に圧縮して利用します。

リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点(200点満点)に換算して利用します。

「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

【一般選抜】政経学部（仮称）

コ　　ー　　ス	日 程 募集人員	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等			個 別 学 力 検 査 等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
		教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	試験の区分	国 語	地 公	数 学			理 科	外国語	情 報	小論文	配 点 合 計	
									数学①	数学②	数学③						
産業・地域社会イノベーションコース 経済経営コース 公共政策デザインコース	前期日程 210人	国語	「国語」	外国語	英語「英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ」	共通テスト	200	400	100	*100	200	100	200	*100	*100	*200	1100
		地理歴史、 公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 または、 「歴史総合、世界史探究」 から2 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」 から1 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 から1	その他 小論文													
	数学	「数学Ⅰ、数学A」および 数学②「数学Ⅱ、数学B、数学C」	その他 小論文		個別学力検査等						(400)					400	
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、 「生物」、「地学」 から1 *「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、物理基礎、 化学基礎、生物基礎および地学基礎の4つを出題範囲とし、 そのうち2つを選択解答してください。				計										1500	
	後期日程 50人	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1 「情報Ⅰ」	外国語	英語「英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ」	共通テスト	*100	*100	*100	*100	*100	*100	*100	*100	*100	(100)	100
	情報			その他 小論文	個別学力検査等											400	

※一般選抜（前期日程）一般選抜（後期日程）において調査書は、高大接続および学力の3要素評価の観点から、総合判定時の資料として活用します。

【大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等】欄

○ 前期日程・後期日程について

① 「地理歴史」、「公民」については、2科目のうち少なくとも1科目は、「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」より選択することとします。

② 「理科」については、

a. 2科目受験している場合は、第1解答科目を判定に用います。

b. 「理科」を2科目選択する場合は、「基礎を付した出題範囲」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む出題範囲と科目を選択しても構いません。

③ 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します（リスニングの得点を200点満点に、リーディングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を、配点（100点満点）に圧縮して利用します。

④ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和9年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【個別学力検査等】欄

○ 前期日程・後期日程について

① 「外国語」の「英語」については、「音声内容」は含みません。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

(1) 前期日程について

① 配点に（ ）を付してある教科は、選択教科を表します。

② 科目群A（「地理歴史」、「公民」の合計得点と、科目群B（「数学②」と「情報Ⅰ」のうち高得点の1科目と「数学①」との合計得点）との合計得点を2倍に傾斜配点します。（科目群Aが高得点の場合は上段、科目群Bが高得点の場合は下段）*印を付してある「数学②」と「情報Ⅰ」は、それぞれ受験が必要ですが、高得点の1科目を用います。

③ 大学入学共通テスト「外国語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を、配点（200点満点）に圧縮して利用します。

リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点（200点満点）に換算して利用します。

「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

(2) 後期日程について

① 配点に（ ）を付してある教科は、選択教科を表します。

② 解答した〔6教科8科目〕または〔7教科8科目〕をそれぞれ100点満点に換算し、そのうち高得点の〔3教科3科目〕を判定に用います。各教科、科目ごとの注意事項は以下のとおりです。

a. 「地理歴史」、「公民」は、第1解答科目（1教科1科目のみ）を判定に用います。

b. 「数学」については、「数学①」と「数学②」をそれぞれ1科目として扱うので、「数学①」と「数学②」が高得点の〔3教科3科目〕に該当する場合は、どちらか高得点の科目を判定に用います。

c. 「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を、配点（100点満点）に圧縮して利用します。英語以外の「外国語」の場合は、筆記の得点を配点（100点満点）に換算して利用します。

【一般選抜】理工学部（仮称）

コ　　ー　　ス	日 程 募 集 人 員	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等		個　別　学　力　検　査　等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
		教科	科　目　名　等	教科等	科　目　名　等	試験の区分	国　語	地　歴、 公　民	数　学	理　科	外国語	情　報	面　接	配 点 計	
情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース	前期日程 113人	国語	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から1 *「地理総合／歴史総合／公共」は、地理総合、歴史総合および公 民の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答してください。	数学 理科	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学Cから2 「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」	共通テスト	200	100	300	200	200	100		1100	
		地理歴史、 公民		理科		個別学力検査等			(300) (300)	(300) (300)				600	
	後期日程 50人	数学	数学①「数学Ⅰ、数学A」および 数学②「数学Ⅱ、数学B、数学C」		計									1700	
		理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、 「生物」、「地学」から2 *「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、物理基礎、化 学基礎、生物基礎および地学基礎の4つを出題範囲とし、そのう ち2つを選択解答してください。	その他	面接	共通テスト	200	100	400	200	200	100		1200	
		外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」		個別学力検査等								300	300	
			〔6教科8科目〕		計								1500		

※一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）において調査書は、高大接続および学力の3要素評価の観点から、総合判定時の資料として活用します。

【大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等】欄

○ 前期日程・後期日程について

- ① 「地理歴史」、「公民」から2科目受験している場合は、第1解答科目を判定に用います。（2科目選択する場合は、右図の中から選択してください。×印の選択はできません。）
- ② 「理科」については、「基礎を付した出題範囲」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む出題範囲と科目を選択することはできません。
- ③ 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します（リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります）。
- ④ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和9年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【個別学力検査等】欄

(1) 前期日程について

- ① 「数学」の出題範囲は「全範囲」とします。
- ② 「理科」の「物理」、「化学」、「生物」については全領域とします。

(2) 後期日程について

- ① 個別学力検査等は「面接」とします。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

○ 前期日程・後期日程について

- ① 大学入学共通テスト「数学」については、前期の得点は300点満点に、後期の得点は400点満点に換算して利用します。
 - ② 「外国語」の「英語」については、リーディングの得点は200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を、配点（200点満点）に圧縮して利用します。
- リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点（200点満点）に換算して利用します。
- 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

大学入学共通テストの「地歴」及び「公民」において、2科目を選択する場合は、下表の「○」で示す組合せから選択してください。「×」で示す組合せから選択することはできません。

	「地理総・ 地歴探」	「歴総・ 日探」	「歴総・ 世探」	「地理総・ 地歴探 及び歴総」	「地理総・ 地歴探 及び公」	「公・政経」
「地理総・地歴探」						
「歴総・日探」	○	○	○	×	○	○
「歴総・世探」	○	○	○	×	○	○
「地理総・ 地歴探 及び歴総」	×	×	×			○
「地理総・ 地歴探 及び公」	×	○	○		×	×
「歴総・ 及び公」	○	×	×		×	×
「公・偏」	○	○	○	○	×	×
「公・政経」	○	○	○	○	×	×

【一般選抜】食農学部（仮称）

コ　　ー　　ス	日　　程 募集人員	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等		個　別　学　力　検　査　等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
		教科	科　目　名　等	教科等	科　目　名　等	試験の区分	国　語	地　歴 地　公　民	数　学	理　科	外国語	情　報	ペーパー インタビュ	配　点 合　計	
食品科学コース 農業科学コース フィールド環境学コース 農業経営学コース	前期日程 75人	国語	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から1 ＊「地理総合／歴史総合／公共」は、地理総合、歴史総合および公 共の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答してください。	その他	ペーパーインタビュ	共通テスト	200	100	200	200	200	100		1000	
		数学	数学①「数学Ⅰ、数学Ⅱ」および 数学②「数学Ⅲ、数学Ⅳ」			個別学力検査等							200	200	
	後期日程 20人	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、 「生物」、「地学」から2 ＊「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、物理基礎、化 学基礎、生物基礎および地学基礎の4つを出題範囲とし、そのう ち2つを選択解答してください。	その他	ペーパーインタビュ	共通テスト	200	100	200	200	100		1000		
		外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」			個別学力検査等							100	100	
				〔6教科8科目〕			計								1100

※一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）において調査書は、高大接続および学力の3要素評価の観点から、総合判定時の資料として活用します。

【大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等】欄

- 前期日程・後期日程について
- ① 「地理歴史」「公民」から2科目受験している場合は、第1解答科目を判定に用います。（2科目選択する場合は、右図の中から選択してください。×印の選択はできません。）
 - ② 「理科」については、「基礎を付した出題範囲」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む出題範囲と科目を選択することはできません。
 - ③ 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します（リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります）。
 - ④ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和9年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【個別学力検査等】欄

- 前期日程・後期日程について
- ① ペーパーインタビュは、本学部が求める能力を多面的・総合的に評価するために、紙面に記載された質問を読んで解答を記述する筆記型の試験です。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- 前期日程・後期日程について
- ① 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を、配点（200点満点）に圧縮して利用します。
 - リスニングを免除された場合は、リーディングの得点、配点（200点満点）に換算して利用します。
 - 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

大学入学共通テストの「地歴」及び「公民」において、2科目を選択する場合は、下表の「○」で示す組合せから選択してください。「×」で示す組合せから選択することはできません。

	「地理総合・地理探究Ⅰ」	「歴史・地理探究Ⅰ」	「歴史・世探」	「地理総合・歴史・公」	「地理総合・歴史・公」	「公・偏」	「公・偏」
「地理総合・地理探究Ⅰ」	○	○	○	×	×	○	○
「歴史・地理探究Ⅰ」	○	○	○	×	○	○	○
「歴史・世探」	○	○	○	×	○	○	○
「地理総合・歴史・公」	×	×	×	×	×	×	×
「地理総合・歴史・公」	×	○	○	○	×	×	×
「歴史・地理探究Ⅰ」	○	×	×	×	×	×	×
「公・偏」	○	○	○	○	○	○	○
「公・偏」	○	○	○	○	○	○	○

3 一般選抜における主体性等評価および合格者決定方法について

本学のすべての学部的一般選抜（前期日程および後期日程）において、調査書を活用して主体性等を評価します。調査書は、高大接続および学力の3要素評価の観点から、総合判定時の資料として活用します。

教育学部（仮称）

(1) 個別学力検査等について

① 前期日程

国語系、英語系、社会科系、心理・表現系は小論文（※1）の試験を行います。

算数・数学系、理科系はペーパーインタビュー（※2）の試験を行います。

保健体育系は実技検査（※3）を行います。

※1 「小論文」は、資料を与え、1,200字程度で論述させ、理解力・思考力・表現力等を総合的にみます。

※2 「ペーパーインタビュー」は面接による試験ではなく、紙面に記載された質問を読んで解答を記述する筆記型の試験です。複数の問題のうち2題程度を選択し、解答させます。

※3 実技検査の範囲は次の通りです（詳細については11月中旬発表予定の学生募集要項に記載します）。

実 技 検 査 の 範 囲	
保健体育系	実技検査は、運動技能検査とし、下記の通り実施します。 1. 基礎運動技能検査 多くのスポーツ種目に対応しうるようなスポーツの基礎的技能や動きなどをみます。 2. 実技実績調査書 高等学校入学以降のスポーツ競技実績を、実技実績調査書により評価します。

② 後期日程

小論文の試験を行います。資料を与え、1,200字程度で論述させ、理解力・思考力・表現力等を総合的にみます。

(2) 合格者決定方法について

合格者の決定は、大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の成績の総合点により行います（配点については、10～12ページ参照）。出身学校の調査書は、高大接続および学力の3要素評価の観点から、総合判定時の資料として活用します。

個別学力検査等を受験しなかった者は合格者とはなりません。

① 前期日程

- ・【国語系、英語系、社会科系、心理・表現系】全受験者を大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の総合得点順に並べ、得点上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。

- ・【算数・数学系，理科系】全受験者を大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の総合得点順に並べ，得点上位者から受験者の志望に応じて順次，合格者を決定します。

② 後期日程

全受験者を大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の総合得点順に並べ，得点上位者から受験者の志望に応じて順次，合格者を決定します。

政経学部（仮称）

(1) 個別学力検査等について

- ① 前期日程および後期日程の「英語」については，「音声内容」は含みません。
- ② 前期日程および後期日程の「小論文」は，試験時に資料を与え，それに関して1,000字以内で論述させ，理解力，思考力，表現力等を総合的にみます。

(2) 合格者決定方法について

- ① 出身学校の調査書は，高大接続および学力の3要素評価の観点から，総合判定時の資料として活用します。
- ② 合格者の決定は，大学入学共通テストと個別学力検査等の成績を総合して高得点順に行います（配点については，13ページ参照）。

個別学力検査等を受験しなかった者は合格者とはなりません。

理工学部（仮称）

(1) 個別学力検査等について

- ① 前期日程の「数学」の出題範囲は「全範囲」とします。
- ② 前期日程の「理科」の「物理」，「化学」，「生物」は全領域とします。
- ③ 後期日程は「面接」とします。

(2) 合格者決定方法について

- ① 出身学校の調査書は，高大接続および学力の3要素評価の観点から，総合判定時の資料として活用します。
- ② 合格者の決定は，大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の成績の総合点により行います（配点については，14ページ参照）。

個別学力検査等を受験しなかった者は合格者とはなりません。

食農学部（仮称）

(1) 個別学力検査等について

前期日程および後期日程のペーパーインタビューは，本学部が求める能力を多面的・総合的に評価するために，紙面に記載された質問を読んで解答を記述する筆記型の試験です。

(2) 合格者決定方法について

出身学校の調査書は、高大接続および学力の3要素の観点から、総合判定時の資料として活用します。

合格者の決定は、大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の成績の総合点により行います（配点等については、15ページを参照してください）。ただし、ペーパーインタビューの評価が合格判定基準に達しない者は、合格者とはなりません。

個別学力検査等を受験しなかった者は合格者とはなりません。

4 一般選抜（前期日程および後期日程）における過去問題の使用について

- (1) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学で過去に出された問題を、必要と認める範囲で使用して出題することがあります。ただし、小論文は除きます。
- (2) 過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、必ず使用するとは限りません。
- (3) 過去問題を使用した場合は、入学試験終了後、本学ウェブサイトで公表します。
- (4) 「入試過去問題活用宣言」の詳細および参加大学の一覧は、次のウェブサイトで公表しています。

<https://www.nyushikakomon.jp/>

※文部科学省大学設置・学校法人審議会等の審査継続による保留等で、令和9年度大学入学共通テストの利用ができない場合、および選考方法等に変更が生じる場合については、改めて本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)でお知らせします。

V 総合型選抜

実施学部名等	教育学部（仮称） 地域教員希望枠
募集人員	国語系 英語系 社会科系 算数・数学系 理科系 保健体育系 心理・表現系 20人
出願資格	次の(1)から(3)のいずれかに該当するとともに、福島県の教員になることを強く希望する者。なおかつ本学部のアドミッションポリシーに適合し、本学部で学ぶ強い意欲を持ち、合格した場合、入学することを確約できる者としてします。 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和9年3月までにこれに該当する見込みの者
選抜方法	小論文（100点）、プレゼンテーションおよび面接（自己推薦書の評価、および面接における口頭試問の評価を含む。100点）の総合点により判定します。 「小論文」は福島県の教育に関する資料を提示し、その資料を踏まえて考えたことをまとめます。 「プレゼンテーション」は「福島県の教員を目指すあなたが大学で取り組みたいこと」をテーマに発表内容をまとめた資料（A4用紙1枚、両面可。ただし3分間以内で発表可能な分量とする）を事前に提出し、それをもとに発表します。資料は出願時に郵送により提出することとし、記載方法について形式は問いません。 プレゼンテーションの内容を踏まえ、面接を行います。プレゼンテーションの時間は3分間、面接の時間は7分間程度です。 出願時に、志望の系を第三志望まで申請することができます。全受験者を総合得点順に並べ、得点上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。
出願期間	令和8年10月19日(月)～22日(木)
選抜期日	令和8年11月18日(水)
合格発表日	令和8年11月26日(木)
その他	詳細は、7月中旬発表の「総合型選抜学生募集要項」によります。

実施学部名等	教育学部（仮称） 探究枠
募 集 人 員	39人 国語系 5人 英語系 5人 社会科系 5人 算数・数学系 5人 理科系 5人 保健体育系 4人 心理・表現系 10人
出 願 資 格	【国語系，英語系，社会科系，算数・数学系，理科系】 各教科の専門性を深めることを目指すと同時に，探究的な学びに強い関心・意欲があり，主に中学校・高等学校の教員となることを目指す者 【保健体育系】 スポーツにおける優れた技能を有すると同時に，探究的な学びに強い関心・意欲があり，主に中学校・高等学校の教員となることを目指す者 全国高等学校体育連盟または日本高等学校野球連盟に加盟している競技において，全国大会またはブロック大会に出場し，プレーした者として。 【心理・表現系】 表現やアート，生活の観点から，子どもの心に寄り添った小学校教員となることを目指し，探究的な学びに強い関心・意欲がある者 【全系共通】 次の(1)から(3)のいずれかに該当するとともに，本学部のアドミッションポリシーに適合し，本学部で学ぶ強い意欲を持ち，合格した場合，入学することを確約できる者として。 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く。）により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和9年3月までにこれに該当する見込みの者
選 抜 方 法	【国語系，英語系，社会科系，算数・数学系，理科系，心理・表現系】 面接（自己推薦書，探究調書，事前提出物の評価，および面接における口頭試問の評価を含む，100点）により判定します。 【保健体育系】 面接（自己推薦書，探究調書，事前提出物の評価，および面接における口頭試問の評価を含む，100点）および実技実績調査（100点）の総合点により判定します。
出 願 期 間	令和8年10月19日(月)～22日(木)
選 抜 期 日	令和8年11月18日(水)
合 格 発 表 日	令和8年11月26日(木)
そ の 他	詳細は，7月中旬発表の「総合型選抜学生募集要項」によります。

実施学部名等	政経学部（仮称） I 型
募 集 人 員	産業・地域社会イノベーションコース 経済経営コース 公共政策デザインコース
出 願 資 格	次の(1)から(3)のいずれかに該当するとともに、好奇心や探究心の豊かな者。なおかつ本学部のアドミッション・ポリシーに適合し、本学部で学ぶ強い意欲を持ち、合格した場合、入学することを確約できる者とします。 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和9年3月までにこれに該当する見込みの者 なお、総合型選抜に出願した者が本学部の学校推薦型選抜に出願した場合は、総合型選抜の出願を辞退したものとみなします。
選 抜 方 法	第1次選抜、第2次選抜により行います。 <第1次選抜> 書類審査。課題図書（事前に提示）に基づくレポートと志願理由書によって、30人程度を選抜します。調査書は書類審査のための基礎資料として使用します。 <第2次選抜> 課題図書に基づくグループディスカッション（100点）と面接試験（100点）によって選抜します。
出 願 期 間	令和8年9月1日(火)～4日(金)
選 抜 期 日	第1次選抜：書類審査 第2次選抜：令和8年12月5日(土)
合 格 発 表 日	第1次選抜：令和8年10月15日(木) 第2次選抜：令和8年12月10日(木)
そ の 他	詳細は、7月中旬発表の「総合型選抜学生募集要項」によります。

実施学部名等	政経学部（仮称）Ⅱ型（指定検定資格要件：英語）
募 集 人 員	産業・地域社会イノベーションコース 経済経営コース 公共政策デザインコース
出 願 資 格	次の(1)から(3)のすべてに該当するとともに、一定の英語能力があり、グローバルな視点から社会課題の解決に取り組む意欲をもつ者。なおかつ本学部のアドミッション・ポリシーに適合し、合格した場合、入学することを確約できる者としてします。 (1) 次の①から③のいずれかに該当する者 ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者および令和9年3月までにこれに該当する見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.5以上の者 (3) 以下に指定する①から③の語学検定試験のいずれかにおいて、一定の基準に達している者 ① （公財）日本英語検定協会主催 実用英語技能検定（英検） CSE スコア1850点以上 ※「英検 S-CBT」（「英検2020 1day S-CBT」「英検 CBT」を含む）の受験によって得られた成績を、従来方式と同等に扱います。 ② （一財）国際ビジネスコミュニケーション協会主催 TOEIC L&R 480点以上 ③ ETS Japan 合同会社主催 TOEFL iBT 50点以上 ※「TOEFL iBT Home Edition」（「TOEFL iBT Special Home Edition」を含む）の受験によって得られた成績を、従来方式と同等に扱います。 なお、総合型選抜に出願した者が本学部の学校推薦型選抜に出願した場合は、総合型選抜の出願を辞退したものとみなします。
選 抜 方 法	第1次選抜，第2次選抜により行います。 <第1次選抜> 書類審査。課題図書（事前に提示）に基づくレポートと志願理由書によって，30人程度を選抜します。調査書は書類審査のための基礎資料として使用します。 <第2次選抜> 課題図書に基づくグループディスカッション（100点）と面接試験（100点）によって選抜します。

出 願 期 間	令和8年9月1日(火)～4日(金)
選 抜 期 日	第1次選抜：書類審査 第2次選抜：令和8年12月5日(土)
合 格 発 表 日	第1次選抜：令和8年10月15日(木) 第2次選抜：令和8年12月10日(木)
そ の 他	詳細は、7月中旬発表の「総合型選抜学生募集要項」によります。

実施学部名等	理工学部（仮称） 一般枠
募集人員 （検討中）	情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース } 28人 （注） 所属コースは1年次後期末に 本人の希望と入学後の成績に基 づいて決定します。
出願資格	次の(1)から(3)のすべてに該当する者としてします。 (1) 以下のいずれかに該当する者 (1a) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者 (1b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者 (1c) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者および令和9年3月までにこれに該当する見込みの者 (2) 本学部のアドミッション・ポリシーに適合し、本学部で学ぶ強い意欲を持ち、合格した場合に入学を確約する者 (3) 以下のいずれかに該当する者 (3a) 出願時まで実用英語技能検定試験2級以上に合格、または、TOEIC L&R 550点以上、TOEIC S&W 240点以上、TOEFL iBT 42点以上いずれかのスコアを有する者 ※ TOEIC L&R は、IP テスト（マークシート方式）も可とします。ただし IP テスト（オンライン方式）は不可とします。 ※ TOEFL iBT は、「TOEFL iBT Home Edition」（「TOEFL iBT Special Home Edition」を含む）の受験によって得られた成績を、従来方式と同等に扱います。 (3b) 高等学校を卒業した者（卒業見込みの者）で、高等学校在学中に「科学に関する探索的活動」に取り組み、出願時まで学外での発表・コンテスト参加等の経験を有する者 (3c) 調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上の者で、高等学校において数学「数学Ⅲ、数学Cのうち1科目以上」、および、理科「物理（物理基礎を除く）、化学（化学基礎を除く）、生物（生物基礎を除く）、地学（地学基礎を除く）のうち1科目以上」を履修した者または履修している者
選 抜 方 法	第1次選抜、第2次選抜により行います。 ＜第1次選抜＞ 出願時に提出された志願理由書および出願書類を総合的に評価し、一般枠および理系教育女性人材育成枠あわせて70人程度を第1次選抜合格者としてします。なお、入学志願者が70人を超えない場合には、第1次選抜を実施せず、第2次選抜のみとします。

選 抜 方 法	【志願理由書】 以下について、指定様式に記載してください。なお、記載は出願者本人による手書きとします。 1. 出願資格(3)に関する経験・実績（出願者がどのように努力してきたのか、取り組みの過程で学んだ（感じた）こと、本学科での学修にどのように活かそうとするのか） 2. 将来の目標、それを実現するための計画 3. 自己PR ＜第2次選抜＞ 第1次選抜合格者に対して、幅広い分野における科学的なトピックに関する30分程度の模擬授業を行います。授業後に、模擬授業の内容に関する課題レポートの作成を課し、さらに面接を実施します。そして、以下に記した力を総合的に評価し選考します。 ○課題レポート：模擬授業の内容を聴き取り理解する力、授業内容についての基礎的な知識や思考力を評価します。模擬授業の内容を踏まえ、設定された課題について思考・判断してレポートにまとめる力や表現力を評価します。 ○面接：面接員との質疑応答を通して、大学生活に対する意欲・関心や自身の考えを伝えるコミュニケーション力・表現力等について評価します。
出 願 期 間	令和8年10月1日(木)～6日(火)
選 抜 期 日	第1次選抜：書類選考 第2次選抜：令和8年11月7日(土)
合 格 発 表 日	第1次選抜：令和8年10月15日(木) 第2次選抜：令和8年11月12日(木)
そ の 他	・総合型選抜を志願する女子は、出願する枠を以下の中から選択することができます。 ☐一般枠 ☐理系教育女性人材育成枠 ☐一般枠と理系教育女性人材育成枠の併願 ・一般枠と理系教育女性人材育成枠の併願者が両枠に合格した場合、理系教育女性人材育成枠の合格者となります。 ・詳細は、7月中旬発表の「総合型選抜学生募集要項」によります。

実施学部名等	理工学部（仮称） 理系教育女性人材育成枠
募集人員 （検討中）	情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース } 8人 （注） 所属コースは1年次後期末に 本人の希望と入学後の成績に基 づいて決定します。
出願資格	次の(1)から(3)のすべてに該当する女子とします。 (1) 以下のいずれかに該当する者 (1a) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者 (1b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者 (1c) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者および令和9年3月までにこれに該当する見込みの者 (2) 本学部のアドミッション・ポリシーに適合し、本学部で学ぶ強い意欲を持ち、合格した場合に入学を確約する者 (3) 以下のいずれかに該当する者 (3a) 出願時まで実用英語技能検定試験2級以上に合格、または、TOEIC L&R 550点以上、TOEIC S&W 240点以上、TOEFL iBT 42点以上いずれかのスコアを有する者 ※ TOEIC L&R は、IP テスト（マークシート方式）も可とします。ただし IP テスト（オンライン方式）は不可とします。 ※ TOEFL iBT は、「TOEFL iBT Home Edition」（「TOEFL iBT Special Home Edition」を含む）の受験によって得られた成績を、従来方式と同等に扱います。 (3b) 高等学校を卒業した者（卒業見込みの者）で、高等学校在学中に「科学に関する探索的活動」に取り組み、出願時まで学外での発表・コンテスト参加等の経験を有する者 (3c) 調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上の者で、高等学校において数学「数学Ⅲ、数学Cのうち1科目以上」、および、理科「物理（物理基礎を除く）、化学（化学基礎を除く）、生物（生物基礎を除く）、地学（地学基礎を除く）のうち1科目以上」を履修した者または履修している者
選 抜 方 法	第1次選抜、第2次選抜により行います。 ＜第1次選抜＞ 出願時に提出された志願理由書および出願書類を総合的に評価し、一般枠および理系教育女性人材育成枠あわせて70人程度を第1次選抜合格者とします。なお、入学志願者が70人を超えない場合には、第1次選抜を実施せず、第2次選抜のみとします。

選 抜 方 法	【志願理由書】 以下について、指定様式に記載してください。なお、記載は出願者本人による手書きとします。 1. 出願資格(3)に関する経験・実績（出願者がどのように努力してきたのか、取り組みの過程で学んだ（感じた）こと、本学科での学修にどのように活かそうとするのか） 2. 将来の目標、それを実現するための計画 3. 自己PR 4. 理系教育女性人材育成枠に志願する動機・理由 ＜第2次選抜＞ 第1次選抜合格者に対して、幅広い分野における科学的なトピックに関する30分程度の模擬授業を行います。授業後に、模擬授業の内容に関する課題レポートの作成を課し、さらに面接を実施します。そして、以下に記した力を総合的に評価し選考します。 ○課題レポート：模擬授業の内容を聴き取り理解する力、授業内容についての基礎的な知識や思考力を評価します。模擬授業の内容を踏まえ、設定された課題について思考・判断してレポートにまとめる力や表現力を評価します。 以上に加え、課題の問いに対する探究力および思考の柔軟性についても評価します。 ○面接：面接員との質疑応答を通して、大学生活に対する意欲・関心や自身の考えを伝えるコミュニケーション力・表現力等について評価します。さらに、志願理由書の「4. 理系教育女性人材育成枠に志願する動機・理由」に基づく面接を行い、高等学校において主体的に活動した事例を踏まえ、「理系教育女性人材育成枠」に志願した動機・理由、主体性等についても評価します。
出 願 期 間	令和8年10月1日(木)～6日(火)
選 抜 期 日	第1次選抜：書類選考 第2次選抜：令和8年11月7日(土)
合 格 発 表 日	第1次選抜：令和8年10月15日(木) 第2次選抜：令和8年11月12日(木)
そ の 他	・総合型選抜を志願する女子は、出願する枠を以下の中から選択することができます。 ☐一般枠 ☐理系教育女性人材育成枠 ☐一般枠と理系教育女性人材育成枠の併願 ・一般枠と理系教育女性人材育成枠の併願者が両枠に合格した場合、理系教育女性人材育成枠の合格者となります。 ・詳細は、7月中旬発表の「総合型選抜学生募集要項」によります。

実施学部名等	食農学部（仮称）
募集人員 （検討中）	食品科学コース 農業科学コース フィールド環境学コース 農業経営学コース } 40人 （地域社会貢献枠 概ね25人, 実践教育経験枠 概ね15人） （注）所属コースは、 2年次前期終了 時に決定します。
出願資格	地域社会貢献枠 次の(1)から(4)のすべてに該当する者とします。 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者、または高等専門学校の第3学年を修了見込みの者 (2) 福島県内の高等学校を卒業もしくは卒業見込みの者で、福島県内の農林業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等の次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者、または福島県外の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で、福島県内もしくは出身県内の農林業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等で次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者 (3) 本学部のアドミッション・ポリシーに適合し、本学部で学ぶ強い意志を持ち、合格した場合は入学することを確約できる者 (4) 以下のいずれかを取得している者 ① 実用英語技能検定準2級以上 以下の検定結果でも可 IELTS 3.0以上, TEAP 150点以上, GTEC 690点以上, GTEC CBT 510点以上, TOEIC L&R S&W 385点以上（L&R 225点以上, S&W 160点以上） ② 実用数学技能検定2級以上 ③ 上記同等、同等以上の資格（例 情報処理検定ビジネス1級など）^(注) 実践教育経験枠 次の(1)から(3)のすべてに該当する者とします。 (1) 高等学校専門学科（農業、工業、商業、情報、水産、家庭、看護、福祉に関する学科）、総合学科もしくは中等教育学校専門学科（農業、工業、商業、情報、水産、家庭、看護、福祉に関する学科）を令和9年3月に卒業見込みの者、または高等専門学校の第3学年を修了見込みの者で、農学を学ぶ強い意欲を持つ者 (2) 本学部のアドミッション・ポリシーに適合し、本学部で学ぶ強い意志を持ち、合格した場合は入学することを確約できる者

出 願 資 格	(3) 以下のいずれかを取得している者 ① 実用英語技能検定準2級以上 以下の検定結果でも可 IELTS 3.0以上, TEAP 150点以上, GTEC 690点以上, GTEC CBT 510点以上, TOEIC L&R S&W 385点以上 (L&R 225点以上, S&W 160点以上) ② 実用数学技能検定2級以上 ③ 日本農業技術検定3級以上 ④ 日本商工会議所簿記検定2級以上 ⑤ アグリマイスター顕彰制度 シルバー以上 ⑥ 上記同等, 同等以上の資格 (例 情報処理検定ビジネス1級など)^(注) (注) 「上記同等, 同等以上の資格」については, 本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」(https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html)に掲載している別紙を参照してください。
選 抜 方 法	【第1次選抜】 書類選考とします。 以下の書類により, 熱意と適性の評価を行います。 ・自己推薦書 (本学様式) ・調査書 食農学部への適性を判断するため使用 【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対し, 課題論文を課し, 面接を実施します。
出 願 期 間	令和8年10月1日(木)～6日(火)
選 抜 期 日	第1次選抜：書類選考 第2次選抜：令和8年10月24日(土)
合 格 発 表 日	第1次選抜：令和8年10月15日(木) 第2次選抜：令和8年11月5日(木)
そ の 他	詳細は, 7月中旬発表の「総合型選抜学生募集要項」によります。

Ⅵ 学校推薦型選抜

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

実施学部名	政経学部（仮称） A 推薦
募集人員	産業・地域社会イノベーションコース 経済経営コース 公共政策デザインコース
出願資格	次の(1)から(3)のいずれかに該当するとともに、経済学、経営学、政治学、法学、社会学などを通じて社会課題を解決することに強い意欲を持つ者。なおかつ本学部のアドミッション・ポリシーに適合する者となります。 (1) 高等学校（特別支援学校（盲学校、聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を令和9年3月卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定により令和8年度中に高等学校を卒業または卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設を令和8年4月から令和9年3月までに修了または修了見込みの者
推薦要件	次のすべての要件に該当する者のうち、学校長が責任を持って推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者となります。 (1) 調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上の者 (2) 学力・人物が優れている者
選抜方法	小論文（100点満点）と面接（50点満点）の成績の総合点により判定します。 出願書類は判定の基礎資料として利用します。
出願期間	令和8年11月1日(日)～6日(金)
選抜期日	令和8年11月21日(土)
合格発表日	令和8年12月10日(木)
その他	(1) 出身学校長が推薦できる人数は、A推薦およびB推薦をあわせて制限はありません。 (2) 詳細は、7月中旬発表の「学校推薦型選抜学生募集要項」によります。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

実施学部名	政経学部（仮称） B 推薦（指定検定資格要件：簿記）	
募 集 人 員	産業・地域社会イノベーションコース 経済経営コース 公共政策デザインコース	25人
出 願 資 格	次の(1)から(3)のいずれかに該当するとともに、簿記に関連する資格を持ち、会計学などを通じて社会課題を解決することに強い意欲を持つ者。なおかつ本学部のアドミッション・ポリシーに適合する者としてします。 (1) 高等学校（特別支援学校（盲学校、聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を令和9年3月卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定により令和8年度中に高等学校を卒業または卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設を令和8年4月から令和9年3月までに修了または修了見込みの者	
推 薦 要 件	次のすべての要件に該当する者のうち、学校長が責任を持って推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者としてします。 (1) 調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.8以上の者 (2) 以下の検定試験のいずれかに合格している者 ① 日本商工会議所主催 簿記検定試験1級または2級（なお、1級に合格している者は推薦書裏面の資格記入欄に朱記すること。） ② （公財）全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定試験1級 (3) 学力・人物が優れている者	
選 抜 方 法	小論文（100点満点）、面接（50点満点）、朱記要件加算（50点）の成績の総合点により判定します。 出願書類は判定の基礎資料として利用します。	
出 願 期 間	令和8年11月1日(日)～6日(金)	
選 抜 期 日	令和8年11月21日(土)	
合 格 発 表 日	令和8年12月10日(木)	
そ の 他	(1) 出身学校長が推薦できる人数には、A推薦およびB推薦をあわせて上限はありません。 (2) 詳細は、7月中旬発表の「学校推薦型選抜学生募集要項」によります。	

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

実施学部名	教育学部（仮称）
募集人員	51人 国語系 8人 英語系 8人 社会科系 8人 算数・数学系 8人 理科系 7人 保健体育系 7人 心理・表現系 5人
出願資格	次の(1)から(3)のいずれかに該当する者としてします。 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和9年3月までにこれに該当する見込みの者
推薦要件	次のすべての要件に該当する者のうち、学校長が責任を持って推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者としてします。 (1) 本学部のアドミッション・ポリシーに適合し、以下に該当する者 【国語系、英語系、社会科系、算数・数学系、理科系、保健体育系】 主に小学校教員となることを目指し、かつ各教科の中学校教員免許の取得を希望する者 【心理・表現系】 小学校教員となることを目指すと同時に、公認心理師となることを目指す者 (2) 令和9年度大学入学共通テストにおける試験教科・科目のうち、本学が課した教科・科目をすべて受験する者
選抜方法等	大学入学共通テストの成績（1000点）および面接（600点）の総合点により判定します。 ○ <u>大学入学共通テストで受験を要する教科・科目</u> 「国語」（200点）, 「地理歴史」・「公民」・「理科」（300点）, 「数学」（200点）, 「外国語」（200点）, 「情報」（100点）の合計1000点 国語 : 「国語」 地理歴史, 公民 : 「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合／歴史総合／公共」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」から1または2 * 「地理総合／歴史総合／公共」は, 地理総合, 歴史総合および公共の3つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答してください。 理科 : 〈選択① : 「地理歴史」, 「公民」から1科目選択する場合〉 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」, 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2 〈選択② : 「地理歴史」, 「公民」から2科目選択する場合〉 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」, 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1 * 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は, 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎および地学基礎の4つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答してください。

選 抜 方 法 等	数学 : 数学①「数学Ⅰ, 数学A」, 「数学Ⅰ」から1と 数学②「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」 外国語 : 「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1 情報 : 「情報Ⅰ」 〈選択①〉〔6教科8科目〕 〈選択②〉〔6教科8科目〕または〔7教科8科目〕 【注意事項】 ① 「地理歴史」, 「公民」から2科目, 「理科」から2科目受験した場合, それぞれの「第1解答科目」の2科目と「第2解答科目」のどちらか高得点の1科目, 合計3科目を判定に用います。 ② 「地理歴史」, 「公民」から2科目選択する場合は, 12ページ表の中から選択してください。×印の選択はできません。 ③ 「理科」を「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」とする場合は, 4つの出題範囲のうち2つを選択解答してください。また, 「理科」を2科目受験する場合, 「基礎を付した出題範囲」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む出題範囲と科目を選択しても構いません。 ④ 「地理歴史」, 「公民」, 「理科」の配点については, 2科目が用いられた教科を200点満点, 1科目が用いられた教科を100点満点として配点します。 ⑤ 「外国語」の「英語」については, リーディングおよびリスニングを課します(リスニングを免除された場合は, リーディングのみとなります)。また, リーディングの得点を200点満点に, リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を, 配点(200点満点)に圧縮して利用します。リスニングを免除された場合は, リーディングの得点を, 配点(200点満点)に換算して利用します。「英語」以外の「外国語」の場合は, 筆記の得点をそのまま利用します。 ⑥ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和9年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。 ○ <u>個別学力検査等</u> 面接(600点)
出 願 期 間	令和8年12月10日(木)～15日(火)
選 抜 期 日	令和9年1月20日(水)
合 格 発 表 日	令和9年2月9日(火)
そ の 他	(1) 出身学校長が推薦できる人数に制限はありません。 (2) 詳細は, 7月中旬発表の「学校推薦型選抜学生募集要項」によります。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

実施学部名	理工学部（仮称）
募集人員 （検討中）	情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース } 16人 （注） 所属コースは1年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。
出願資格	次の各号のいずれかに該当する者として。 (1) 高等学校（特別支援学校（盲学校，聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を令和8年3月以降に卒業または令和9年3月卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定により令和7年4月以降年度の途中に高等学校を卒業または卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設を令和7年4月から令和9年3月までに修了または修了見込みの者
推薦要件	次のすべての要件に該当する者のうち，学校長が責任を持って推薦し，合格した場合には入学することを確約できる者として。 (1) 本学部のアドミッション・ポリシーに適合し，本学で学ぶ強い意欲を持っている者 (2) 令和9年度大学入学共通テストにおける試験教科・科目のうち，本学が課した教科・科目をすべて受験する者
選抜方法	大学入学共通テストの成績（400点）及び面接の成績（200点）の総合点により判定します。ただし，大学入学共通テスト，面接のいずれかの得点が6割に満たない場合には，不合格とする場合があります。 出願書類は面接の資料として利用します。 ○ <u>大学入学共通テストで受験を要する教科・科目</u> 「数学」（200点），「理科」（200点）の合計400点 数学：「数学Ⅰ，数学A」および「数学Ⅱ，数学B，数学C」 理科：「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から2または 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2出題範囲を選択および「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から1 【注意事項】 ① 「理科」は，「基礎を付した出題範囲」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む出題範囲と科目を選択することはできません。

選 抜 方 法	② 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和9年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。 ○ <u>個別学力検査等</u> 面接（200点）
出 願 期 間	令和8年12月10日(木)～15日(火)
選 抜 期 日	令和9年1月27日(水)
合 格 発 表 日	令和9年2月9日(火)
そ の 他	(1) 出身学校長が推薦できる人数に制限はありません。 (2) 詳細は、7月中旬発表の「学校推薦型選抜学生募集要項」によります。

Ⅶ 私費外国人留学生選抜

1 出願資格（政経学部（仮称）、理工学部（仮称）、食農学部（仮称））

次の(1) (2) (3) (4)の条件をすべて満たす者としします。

(1) 日本国籍を有しない者

（注） 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校等を卒業した者または令和9（2027）年3月に卒業見込みの者、および日本の永住許可を得ている者（特別永住者を含む）は、この選抜には出願できません。

(2) 出入国管理及び難民認定法において大学入学資格に支障のない在留資格を有する者および取得できる見込みの者

（注） 在留資格によっては、本学の私費外国人留学生選抜に出願できない場合があるので、事前に本学入試課に照会してください。

(3) 次のいずれかに該当する者

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（令和9（2027）年3月までに修了見込みの者を含む）、またはこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者
 - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
 - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
 - ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
 - ⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格またはインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者
 - ⑥ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者
 - ⑦ 国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia, COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者または令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者
 - ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9（2027）年3月31日までに18歳に達する者※
- #### (4) 独立行政法人日本学生支援機構の実施する日本留学試験を各学部が指定した方法で受験した者

※ 出願資格の(3)⑧により出願を希望する者については、個別審査を行いますので、本学所定の申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、令和8（2026）年11月5日(木)〔午後5時必着〕までに提出してください。

個別審査の申請に必要な書類については、本学入試課へ問い合わせるか、本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)を参照してください。

2 入学者選抜方法（詳しくは10月発表予定の「私費外国人留学生選抜学生募集要項」に記載します。）

政経学部（仮称）

- (1) 入学者の選抜は、出願資格の項に示す日本留学試験の成績と、本学が実施する面接の結果から算出された総得点で判定します。
- (2) 出願者は、出願時においてすでに終了した直近の試験を含む3回（令和7（2025）年の11月および令和8（2026）年の6月、11月）の日本留学試験のいずれかを受験していなければなりません。なお受験教科は、日本語を必須とし、その他3教科から選択された1教科の計2教科を用います。日本語以外の教科および教科内のコース・科目の選択は指定しません。出題言語は、日本語または英語のいずれを選択してもかまいません。
- (3) 試験科目および配点等は次のとおりです。

志望するコース	日本留学試験で受験が必要な教科				本学が実施する試験	総合点
	日本語（必須）	総合科目	理科	数学	面接（必須）	
・産業・地域社会イノベーションコース ・経済経営コース ・公共政策デザインコース	450	(200)	(200)	(200)	200	850

- (注) 1. 配点に（ ）を付してある教科は、選択教科を表します。
2. 理科（物理・化学・生物）における理科2科目、および数学のコース1・2の選択は自由とします。
3. 面接については、質問に基づき、問題意識、学習意欲、日本語能力（主に会話力）を総合的にみます。

理工学部（仮称）

- (1) 入学者の選抜は、出願資格の項に示す日本留学試験の成績と、本学が実施する面接の成績の総合点により判定します。
- (2) 出願するためには、令和8（2026）年6月または令和8（2026）年11月に実施される日本留学試験のいずれかを受験していなければなりません。受験教科・科目は、日本語、理科〈物理、化学、生物から2科目選択〉、数学〈コース2〉です。出題言語は、日本語または英語のいずれを選択してもかまいません。
- (3) 試験科目および配点等

日本留学試験100点（850点を100点に圧縮）、本学が実施する面接100点、合計200点とします。
- (4) 面接では、勉学意欲、日本語能力、理科と数学の基礎学力等を総合的に評価します。

食農学部（仮称）

- (1) 入学者の選抜は、出願資格の項に示す日本留学試験の成績と、本学が実施する面接および口頭試問の成績の総合点により判定します。
- (2) 出願するためには、令和8（2026）年6月または令和8（2026）年11月に実施される日本留学試験のいずれかを受験していなければなりません。受験教科・科目は日本語，理科〈物理，化学，生物から2科目選択〉，数学〈コース2〉です。出題言語は，日本語に限ります。
- (3) 試験科目および配点等
日本留学試験100点（850点を100点に圧縮），本学が実施する面接および口頭試問100点，合計200点とします。
- (4) 面接および口頭試問では，勉学意欲，日本語能力，理科と数学の基礎学力等を総合的に評価します。

3 出願期間

令和8年11月30日(月)～12月3日(木)

4 選抜期日等

学 部	募集人員	選抜期日
政経学部（仮称）	10 名	令和9（2027）年1月30日(土)
理工学部（仮称）	若干名	令和9（2027）年1月27日(水)
食農学部（仮称）	若干名	令和9（2027）年1月20日(水)

5 合格発表日

政経学部（仮称）……………令和9（2027）年2月9日(火)

理工学部（仮称）……………令和9（2027）年2月9日(火)

食農学部（仮称）……………令和9（2027）年1月28日(木)

6 そ の 他

詳細については，10月発表予定の「私費外国人留学生選抜学生募集要項」によります。

また，「日本留学試験」については，下記へ照会してください。

独立行政法人 日本学生支援機構

〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29

☎03-6407-7457

Ⅷ そ の 他

1 障がい等のある入学志願者の事前相談

病気・負傷や障がい等のある入学志願者で、受験上および修学上の配慮を必要とする場合は、出願前にあらかじめ入試課まで申し出てください。

なお、申し出に基づき事前相談が必要となった場合の相談の時期および方法等については、それぞれの学生募集要項に記載します。

○教育学部（仮称）、理工学部（仮称）および食農学部（仮称）への志願の際の注意事項

言語、視覚、聴覚および運動機能に障がいのある者は、障がいの程度によっては教育課程の履修が困難な場合がありますので、これらの障がいがある者で不安がある場合は、できるだけ早い時期に入試課まであらかじめ問い合わせた上で出願してください。

2 不正行為の禁止について

(1) 不正行為に該当する行為および罰則について

試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類を使用する等の行為は、不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、不正行為については、警察に被害届を提出する場合があります。

(2) 試験時間中に使用できないもの

試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

- ① 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、イヤホン（補聴器等の管理医療機器除く）、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類

※ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。

※ 試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。

- ② 下敷、コンパス、定規等の補助具

※ これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとな不正行為となることがあります。

3 入試情報の公開（開示）について

福島大学では、以下のとおり入学試験にかかる情報を公開（開示）します。

詳しくは本学入試課までお問い合わせください。

情 報 項 目	公開（開示）の実施方法
1 試験問題等の公開	試験問題等の公開について「各学生募集要項」をご覧ください。
(1) 試験問題等	- 問題を配付した試験については、合格者発表後、学内閲覧できます。また、準備ができ次第、本学ウェブサイトでの公開（著作権の関係で非公開の部分を除く）および残部の配付を行います。 - 面接については、資料を用いた場合、その資料を合格者発表後、学内閲覧できます。
(2) 採点・評価基準 および合否判定基準	本要項または「各学生募集要項」に記載します。
(3) 合格者の最低点	- 合格者発表時、本学ウェブサイト合格者の最低点（総合点によるもの）を公開します。 - 以下の入学試験については公開しません。 ① 合格者が10人未満の場合および点数化しない入学試験 ② 総合型選抜
(4) 入学試験問題の「解答例」等	学力検査（一般選抜）については「解答例」を、合格者発表後、学内閲覧できます。また、小論文・ペーパーインタビューについては「出題意図」を、面接については「概要とねらい」（一部非公開のものがあります）を、本学ウェブサイトに掲載します。
2 入学試験個人成績等の開示	本学が定める方法により、入学試験個人成績、出願書類として提出された調査書を受験者本人に開示します。
(1) 開示期間	令和9年5月6日(木)～5月31日(月)
(2) 開示方法	令和9年4月上旬、本学ウェブサイトの開示の方法について掲載します。 https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/kaizi.html
(3) 開示内容	① 入学試験個人成績については、入学試験ごとに該当する以下の成績。 ア. 大学入学共通テストの教科・科目ごとの得点（本学が判定に使用した教科・科目のみ。傾斜配点を行う教科・科目は傾斜配点後の得点。） イ. 個別学力検査等の得点または評価判定の内容 ウ. アとイの総合点 ② 調査書については、「指導上参考となる諸事項」、「総合的な探究の時間の内容・評価」および「備考」欄の記載事項以外の部分の複写物（高校在学時に交付される通知表と同等のもの）。

4 学生募集要項等の発表時期・請求方法

1. 学生募集要項等の発表時期

本要項は、福島大学における入学者選抜の基本的事項についてのみ記載したものです。具体的な学力検査等の日時、出願手続、出願書類等を記載した募集要項は、次のとおり発表する予定です。

なお、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜、私費外国人留学生選抜は、インターネット出願となります。冊子での募集要項の配布は行いません。すべて本学ウェブサイト上でご確認ください。

学生募集要項等の種別	発表時期
入学者選抜要項（本冊子）	7月上旬
総合型選抜学生募集要項（本学ウェブサイトへの掲載のみ）	7月中旬
学校推薦型選抜学生募集要項（本学ウェブサイトへの掲載のみ）	7月中旬
一般選抜学生募集要項（本学ウェブサイトへの掲載のみ）	11月中旬
私費外国人留学生選抜学生募集要項（本学ウェブサイトへの掲載のみ）	10月

2. 大学案内、入学者選抜要項の請求方法

(1) テレメールで請求する場合

- ① テレメールのサイトにアクセスしてください。

インターネット

<https://telemail.jp>

資料請求はこちら
(資料請求番号の入力不要)



- ② 請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資 料 名	資料請求番号	料金（送料含）※
大学案内	561222	250円
入学者選抜要項	581222	180円
入学者選抜要項・大学案内	561202	250円
一般選抜学生募集要項（テレメールのみ）	541202	330円

※ 料金は変更になる場合があります。

※ 一般選抜学生募集要項（願書除く）については、テレメールの「印刷・発送サービス」が利用できます。

※ 16時までの受付は当日発送、16時以降の受付は翌日発送となります。ただし、発送開始日前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。なお、発送開始日は変更になる場合があります。

- ※ 通常は発送日の概ね3～5日後にお届けできます。ただし、土曜・日曜・祝日の配達はありません。また、資料を請求する曜日やお届け先地域、郵便事情によってはお届けに1週間以上要する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※ 資料は個別に発送されます。複数の資料を同時に請求された場合、お届け日が異なることがあります。
- ※ 一般選抜募集要項の受付期間は2027年1月28日(木)正午までです。
- ※ 発行部数に限りがありますので、早期終了する資料もあります。お早めにご請求ください。
- ③ ガイダンスに従ってお届け先を登録してください。テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。
- ※ 資料請求受付終了時および受付確認メール内に表示される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。
- ※ 随時発送の資料が1週間以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。予約受付の資料が発送開始日を1週間過ぎても届かない場合、資料の完成遅れや在庫不足等の理由により発送開始日が変わっていることがあります。なお、土曜・日曜・祝日の配達通常ありませんのでお急ぎでない場合は次の配達日のお届けを確認した上で、お問い合わせください。
- ※ 資料の料金は、お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、料金は資料の重量により変更になる場合があります。
- ※ 料金のお支払い方法は「PayPay」「携帯キャリア払い」「クレジットカード払い」「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い（PayPay 請求書払い、au PAY 請求書支払い）」がご利用になれます。PayPay、携帯キャリア払い、クレジットカード払いはテレメールお支払いサイト利用料30円が、コンビニ支払いとスマホアプリの請求書支払いは支払い手数料118円が、支払い時に別途必要です。

テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問い合わせ

テレメールカスタマーセンター IP 電話 050-8601-0102（受付時間 9：30～18：00）

※テレメールカスタマーセンターは、株式会社フロンページが管理運営しています。

(2) 大学ウェブサイトから請求する場合

テレメール等を利用して大学案内等の資料を請求する方法については、本学ウェブサイトの「入試情報－募集要項－大学案内・入学者選抜要項の請求方法について」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/seikyu.html>)をご覧ください。

(3) 大学の窓口で請求する場合

福島大学入試課の窓口で配布をしていますので、窓口で直接受け取ることができます。

窓口時間：平日 9：00～17：00

3. 入学試験に関する情報提供について

入学試験に関する情報については、本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)で随時公開しています。

4. 入試に関する問い合わせ先

福島大学入試課 ☎ 024-548-8064 (平日 9:00~17:00)

(問い合わせは、できるだけ入学志願者本人が行ってください。)

5 東日本大震災(原発事故含む)および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について

本学では、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故、および平成23年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、令和8年度に行われるすべての入試において、検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

(1) 対象者

出願期間終了までに、次のいずれかに該当すると認められた本学入学志願者については、検定料を全額免除します。なお、入学志願者が被災していない場合は免除の対象になりません。

- ① 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、入学志願者または主たる家計支持者が居住していた家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失の罹災と認定された方
 - ② 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、主たる家計支持者が死亡または行方不明となった方
 - ③ 東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて設定された「警戒区域」、「計画的避難区域」、「緊急時避難準備区域」、「特定避難勧奨地点」に平成23年3月11日時点で入学志願者または主たる家計支持者が居住していた方で、これに伴い避難を余儀なくされた方
- 上記免除対象者の詳細については以下の表をご確認ください。

区 分	検定料免除の可否（可は○、否は×で示しています）				
①家屋の全・半壊	全 壊	大規模半壊	半 壊	流 失	一部損壊
	○				×
②主たる家計支持者が死亡または行方不明	主たる家計支持者				主たる家計支持者以外
	○				×
③原発事故による影響	警戒区域	計画的避難区域	緊急時避難準備区域	特定避難勧奨地点	それ以外の地域
	○				×

注：区域については、再編前の区域としています。

(2) 必要書類

検定料免除を申請するにあたって必要な書類は以下のとおりです。

① 検定料免除申請書（本学所定の様式）

本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>)参照

② 次に挙げる証明書のいずれか一つの写し

上記(1)①に該当する場合、「市町村長が発行する罹災証明書」

上記(1)②に該当する場合、「主たる家計支持者の死亡または行方不明を確認できる書類」

上記(1)③に該当する場合、「避難している(いた)ことが確認できる書類」(自己申立書でも可)

(3) 必要書類の提出方法と提出期間

出願時に出願書類と合わせて提出してください。

なお、検定料免除申請を行う場合は、出願時に「検定料」を支払わないでください。

※ 出願期間後の申請は認められませんので、ご注意ください。

※ 諸事情により出願時に(2)②の証明書等を提出できない場合は、事前に本学入試課までお問い合わせください。

6 こども性暴力防止法の施行について

学校等における実習に参加する実習生について性犯罪前科の有無の確認が求められる場合があります。留意点を以下の教務課ホームページに掲載しています。

https://kyoumu.adb.fukushima-u.ac.jp/pdf/index/kodomo_seibouryoku.pdf

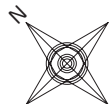


7 令和10年度福島大学入学者選抜（令和9年度実施）に関するお知らせ

本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に最新の情報を掲載していますので、ご覧ください。



福島大学案内図



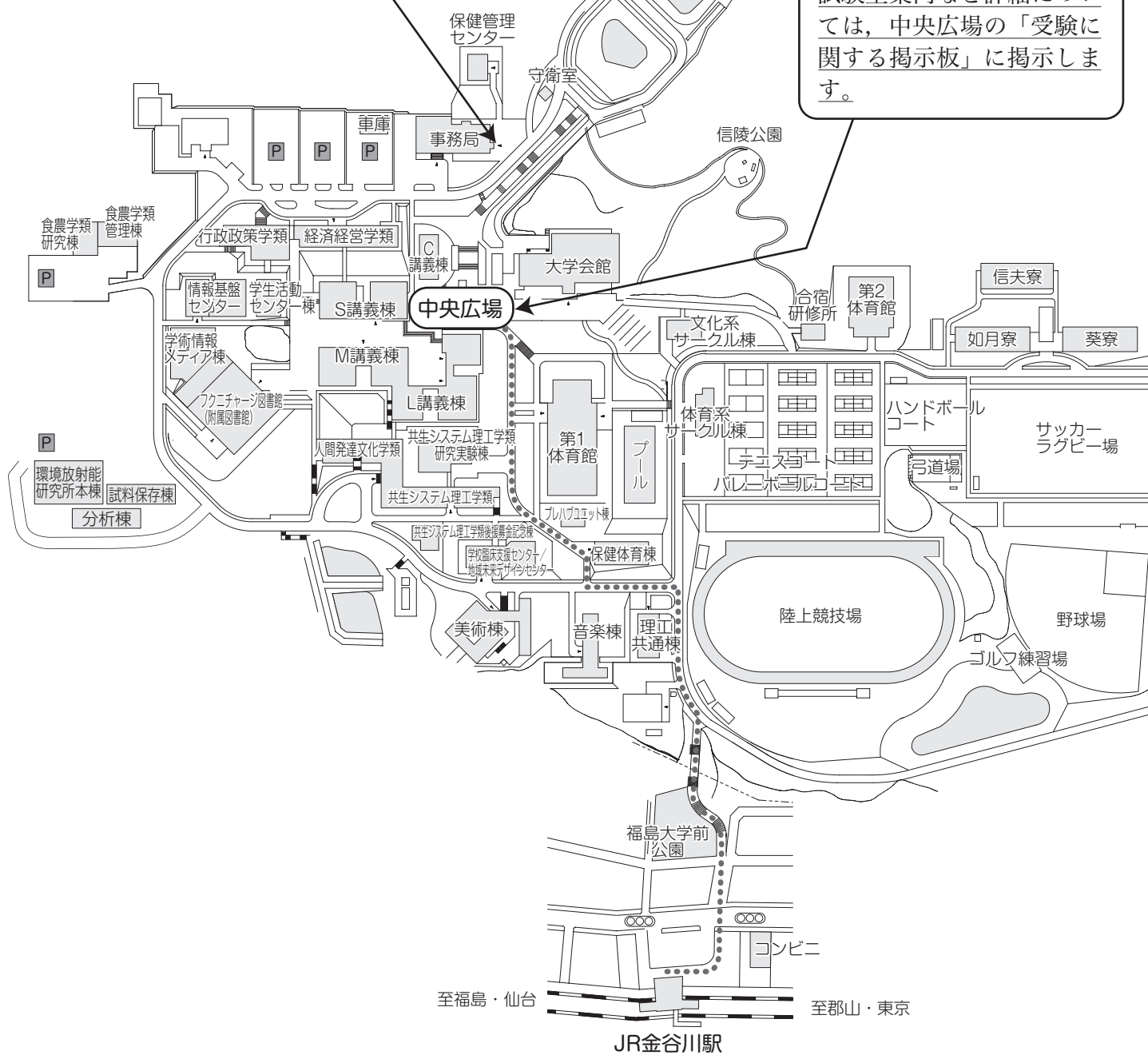
県道
至福島

福島・安達線 (旧国道4号)
至松川町

入試課 (1F)

受験に関する掲示板

試験室案内など詳細については、中央広場の「受験に関する掲示板」に掲示します。



かなやがわ
JR東北本線金谷川駅下車
中央広場まで徒歩約10分



国立大学法人

福島大学

Fukushima University